

# AZ 出店計画をどのように考えるか

## 慎重且つ幅広く検討する



中山 美幸 議員

AZの大崎町出店計画では店舗面積2万平方メートル土地10万平方メートルで24時間営業の計画とのこと、これはダイワ大崎店の1倍にあたり本町のみならず近隣市町の商工業者に与える影響は大きいと思うが町長はどのように考えるか。

### 企業誘致と

同様な考えである

町長

固定資産税・法人住民税・雇用に伴う個人住民税の歳入、交流人口の増などがメリットとして考えられる。反面競合する既存商店などへの影響、交通渋滞、環境への影響が考えられる。商店街活性化については、自助努力と行政との協働をお願いしたい。町の税収が増えることが前提であるが、それを活性化の財源に充

てることは可能である。

### まちづくり三法を

どう活かしているか

中山議員

メリットとして税収の増加・雇用の発生・交流人口増を上げたが、私たちの調査では、既存店の労働力の流出、経営状況の悪化、倒産等が起こる可能性がある。さらに大規模小売店法・中心市街地活性化法・改正都市計画法を基に行政はどのように考えるか。

### 商工会と連携する

町長

AZの出店については、様々な側面があり今判断できる時期にはない。中心市街地は人が通り賑わいのある街が町の顔であろうと思う。活性化は商工会などと連携、共生、協働で進めることが適当である。

### 農地法との関係は

無いのか

中山議員

現在の出店計画地は白

### 授業時数を

調整し進める

教育長

体験学習を通して自分と向き合い他者に共感することや、思いやりや規範意識を育むことができた子どもたちにとって重要である。本年募集のあった「豊かな体験活動推進事業」には申し込まなかった。小学校長期自然体験活動については授業時数とも調整を図りながら進めていく。

### 様々な教科で

取り入れるべき

中山議員

平成20年4月1日の南日本新聞では、全国学力テスト・鹿児島県学力検証改善委員会の報告として「体験の有無で正答差」ということで、自然体験の多い児童ほど正答率が高かったとし

ている。このことから考えると様々な教科に関係するのでないか。

### 大切だと認識している

教育長

学習は知的学習、それを知恵として応用、探求するものだと考える。自然体験により5感が働く。本町は自然豊かであり教育的土壌は整っている。自然体験学習は大切だと捉らえている。

### 転用許可が必要

農業委員会事務局長

現在山林であるが、畑地も含まれ、農地法5条1項の農地転用許可も必要になる。

### 排水は雪山池へ

町長

会社の話では、農業用の雪山池に排水する計画で、雪山土地改良区の同意が得られているとのことである。

### 本町の自然体験学習の実態は

中山議員

改正された教育基本法又24年度改正予定の基本法など小学校の長期自然体験活動が重要視されている。本町における取り組みと対応を示せ。



シャワークライミングに挑戦する児童